



エビネ

撮影日：令和3年5月11日

撮影場所：秋田市 民家敷地

目次

生産現場情報：高密度播種苗・露地プール育苗で省力化！～農事組合法人曲沢ファーム～	P 1～2
営農支援情報：主要花卉の現状と栽培ポイント	P 3～5
ご紹介：石川佳純選手が産地直送通販サイト「JAタウン」の公式アンバサダーに就任！	P 6
ドローンを利用した水稻鉄コーティング種子散播試験	P 7
V2達成！秋田県産しいたけ三冠王！～出荷量・販売金額・販売単価で首位達成	P 8
お知らせ：カメムシ防除の徹底	P 9～10
夏の元気はお米でチャージ！秋田米「夏」キャンペーン	P 11
JAタウン公式アンバサダー石川佳純選手 今月のおすすめキャンペーン	P 12

高密度播種苗・露地プール育苗で省力化！～農事組合法人曲沢ファーム～

1. 法人設立の経緯

平成19年度から一定規模以上の認定農業者と集落営農を対象とした品目横断的経営安定対策が導入されることに伴い、由利本荘市の曲沢地区（旧由利町）では数度の話し合いの結果、集落営農組合が組織化されました。

発足当初は5年以内の法人化を目標しておりましたが、政権交代によるコメ政策や経営安定対策の見直しなどもあり、なかなか法人化には至りませんでした。しかしながら、農業者の高齢化等は待ったなしで進展するなか、経営の安定化などを見据えて、平成28年（2016）2月、高橋俊吾（たかはししゅんご）さんを代表とする農事組合法人 曲沢ファームの設立が実現しました。

設 立 平成28年2月2日

代 表 高橋 俊吾

構 成 16名（令和3年現在）

所在地 由利本荘市曲沢字曲沢59



代表 高橋俊吾さん

2. 経営の概要等

経営の概要（令和3年計画）は、水稻24ha、大豆12ha、枝豆6ha、ブロッコリー0.1haとなっており、約42haの農地で、臨時雇用を活用しながら農業生産を行っています

水稻のうち8.2haは直播栽培で鉄黒コートでのコーティング種子を使用しています。普通の鉄コーティング種子ではコーティング後の発熱対策が必要になりますが、鉄黒コート種子はそれが不要になります。

さて、昨冬は雪が多く、特に県南部地区（仙北、平鹿、雄勝）では水稻育苗ハウスの倒壊など甚大な被害に見舞われ、パイプハウスの復旧が間に合わないことから露地でのプール育苗が大きく注目されています。



（農）曲沢ファームの露地プール育苗（5月11日）

(農) 曲沢ファームでは、移植向けの水稲苗（15.8ha分、約2,000枚）を、全て高密度播種苗（密苗）で1箱当たり約270g播き、育苗器で加温出芽後、露地プールに移し、約2～2.5葉に育った苗を移植しています。10a当たりの必要苗数は11～13枚と大きな省力化にもつながっています。取り組み当初は、プール床が不均平だったり、枯死した苗もあつたりと失敗もあつたのですが、取り組み4年目となり、今では草丈の揃った青々とした苗が並べられていました。

栽培にあたっては、「安全・安心な農作物生産はもちろん、稲わらの腐熟促進などによる健全な土づくり、適期を逃さない肥培管理などを心がけている」と語ってくれました。

また、大豆・枝豆については、秋田県立大学と朝日アグリア(株)が共同開発した土壌改良効果も期待できるペレット肥料「まめリッチ」で栽培しています。

3. 今後に向けて

現在、野菜（枝豆）の集荷選別所(兼)事務所を建設中であり、これにより労働環境が改善される見込みです。

また、将来的には全県で産地化が進展している長ねぎ栽培などに取り組んでみたいと構想を膨らませていました。



建設中の野菜集荷選別所（兼）事務所（5月11日）



主要花卉の現状と栽培ポイント

今月は、梅雨入りとなります。この時期は豪雨なども予想されますので、あらかじめ明渠（めいきょ）を掘るなど気象災害に万全な対策を講じてください。降雨後は、病害の発生がし易くなりますので、必ず薬剤散布による防除を行いましょう。年によっては空梅雨となり、好天続きで害虫の発生が多くなることもあります。日頃の観察を怠らず、適期作業による高品質生産を心がけることが大切です。また、この時期は真夏のような気温が続くことがあり、降雨の少ない日が多い場合は、圃場に灌水するなど臨機応変に対応してください。

【露地ギク】：ギクは、本県花卉生産の販売額第一位品目で、全体の約4割を占めています。

■摘芯した株から3～6本のわき芽が伸びていますので、そのわき芽が輪ギクで3本、小ギクで4～5本となるように整枝します。勢いが強い枝や弱い枝を付け根からかき取り、平均的な枝を残すのがポイントです。定植が遅れたところや側枝の伸びが悪い圃場では液肥や灌水を積極的に行い、ボリュームアップと初期生育の確保に努めてください。



■梅雨時期は「白さび病」の発生に注意！
整枝が遅れ、枝や葉が込み合うと発生を助長しますので、適期作業に努めてください。薬剤散布は1週間間隔で、予防剤を主体に発生を確認したら治療剤に切り替え、被害の拡大を防ぎま

す。また、ハモグリバエ、アブラムシ、ミドリカスミカメムシ、キクスイカミキリムシ等も発生する時期です。薬剤散布の際は殺虫剤も混用してください。

◎**薬剤散布は、できるだけ午前中の涼しい時間帯に行い、周囲の農作物への飛散防止に十分注意しましょう！**

【トルコギキョウ（8月出荷作型）】：県南・中央地区で多く栽培され、9月～10月出荷の抑制栽培が主流となっています。

■草丈が15～20cmになるとチップバーンや茎折れの発生が多くなります。これらの障害は、多肥栽培や軟弱な株ほど発生しやすいため換気を図り、灌水過多にならないよう土壌水分管理に注意してください。また、チップバーンの発生が多い品種や樹勢が強くなりすぎた場合は、定植後1カ月頃から出蕾期にかけて、カルシウム質資材を10日間隔で3～4回散布し予防しましょう。

茎折れは、乾湿の差が大きいと助長されるため、発生しやすい品種は、1回の灌水量を抑え少量ずつこまめな灌水に努めてください。



- 出蕾後の主枝中心花の摘蕾は、蕾が小豆大になったら行ってください。摘蕾が遅れると蕾に栄養が取られ花蕾のバランスが悪くなるため、摘蕾する蕾の大きさが3cm以内の時期まで実施してください。

【リンドウ】：平成14年に作付けが始まって以降、水田転作に適した品目として中央、県南地区中心に飛躍的に面積が拡大し、平成30年度の販売額は5億円を突破。全国第2位の品目となっています。

- 6月は、茎の曲がりが発生しやすい時期なので、ネット上げはしっかりとこないましょう。1番下のネットは草丈の半分の位置、最上段のネットは草丈の8割までの位置とし、2段目のネットが最上段と最下段の中間の位置になるように調整します。ネット上げの際にネットから茎がはみ出る場合があるので、ネット上げが終わったらはみ出た茎をネットの中に入れ込みます。この時、茎を折らないように注意してください。



- 病害では「葉枯病」に加え、6月下旬から「褐斑病」が発生しやすくなります。6月下旬～7月下旬までの時期にストロビーフロアブルと「葉枯病」と同時防除できるダコニール1000を用いて防除してください。

【シンテッポウユリ】：露地水田転作できる種子系のユリで、主に鹿角市と横手市で栽培されています。

- 梅雨期は、「葉枯病」の発生が多くなる時期です。薬剤散布は新葉の展開速度に合わせ7～10日に1回としますが、降雨によって「葉枯病」の発生が助長されますので、降雨後は必ず散布してください。株全体に薬剤が十分かかるように行ってください。

- ネットの引き上げ時期が遅れると、曲がりの発生につながるなので、こまめに引き上げを行ってください。

【ダリア】：平成19年から本格的に栽培が始まり、県では国内有数のダリア育種家と連携して育成した県オリジナル品種「NAMA H A G E ダリア」を主体に生産振興を進めてきた結果、栽培面積及び戸数ともに全国1位となっております。



■生育が旺盛になる時期です。ネットを引き上げて曲がらないようにしてください。下段のネットは地面から20～30cmの位置まで上げた後固定し、上段のネットは生育に応じ適宜引き上げ、通路にはみ出てくる新芽は柔らかいうちにネットの中に入れ込んでください。

■豪雨などで排水不良になりやすい圃場は、あらかじめ明渠を掘るなど気象災害に万全な対策や準備をしてください。

◆各品種とも、うどんこ病やダニ、スリップス、アブラムシ等の病害虫が多く発生する時期です。適宜に防除を行いましょう◆

◎品種ごとの詳細については、各産地の栽培暦や技術情報を順守してください



写真提供：秋田県秋田農業振興普及課





石川佳純選手が産地直送通販サイト 「JAタウン」の公式アンバサダーに就任！

JA全農は、5月25日に全農所属・卓球日本代表の石川佳純選手の『JAタウン』公式アンバサダーへの就任を発表しました。

JAタウンは、全農が運営する産地直送通販サイトで、石川佳純選手が公式アンバサダーとして毎月「JAタウン」の商品を注文し、実際に食べて楽しみながら、JAタウンやSNS内で全国の旬の国産農畜産物の魅力を伝えていきます。



写真左から：JA全農 桑田義文代表理事専務、石川佳純選手



石川選手が自分に活力を与えたいときに食べる“勝負めし”は「焼肉!!」と答え、「試合前にも焼肉を食べてエネルギーをチャージしている。」と話していました。

就任式では、デモンストレーションが行われ、「JAタウン」では日本全国の旬の農畜産物など6,000以上もの商品が産地直送されています。」と説明を受けた石川選手は、勝負めしの「焼肉」と旬の「メロン」をピックアップしました。（選出された商品は、今月のおすすめプレゼントキャンペーン商品となります：お知らせコーナ参照）



ドローンを利用した水稻鉄コーティング種子散播試験

J A あきた湖東と J A 全農あきた、東光鉄工株式会社は 5 月 13 日、五城目町大川でドローンを利用した水稻鉄コーティング種子の散播試験を実施し、J A 職員、メーカーの担当者、生産者ら約 15 名が参加しました。

鉄コーティング水稻直播栽培の普及拡大に向けた取組について、J A 全農あきたは平成 29 年度から実施しており、令和元年度からはドローンを利用した鉄コーティング種子の散播試験を実施しています。

今年度については、以下の取り組みを行いました。

1. 初期害虫対策で鉄コーティング処理時に種子処理剤「ヨーバルシード F S」を使用。
2. 東光鉄工株式会社の新型機種ドローン「T S V - A Q 2」を使用し、簡易自動航行にて 20 a 分の種子 8 k g を約 16 分で散播。
3. 種子散播後に除草剤「ヒエクリーン 1 キロ粒剤」を、旧型機種で手動散播。

3 年目の取り組みとなりますが、生産者からは「ドローンを利用した種子散播・除草剤散布に対し必要性を感じている」と意見をいただきました。自動航行が可能なドローンを使用することで作業時のオペレーターによる散播・散布ムラの改善が期待される上、種子処理剤を使用することで本田防除作業の省力化も可能となります。J A 全農あきたではドローンを利用した鉄コーティング種子散播普及拡大に向け引き続き検討していきます。



V 2 達成！秋田県産しいたけ三冠王！

～出荷量・販売金額・販売単価で首位達成～

京浜地区中央卸売市場において秋田県産しいたけは2020年度の出荷量・販売金額・販売単価が1位となり、昨年度に続き「三冠王」を達成しました。しいたけの2020年度出荷量は前年度より74トン多い、2,315トンで、販売額は前年度より1億3400万円多い27億7,100万円、1キロ当たりの販売単価は1,197円で、トップとなりました。

秋田県はコメへの依存度が高い農業からの脱却を目指し、2017年度から「秋田のしいたけ販売三冠王獲得事業」を開始。野菜や花などの園芸作物を大規模栽培する「園芸メガ団地」を推進し、しいたけの生産体制の強化に取り組んできました。今後も高品質生産と安定生産に向けた産地ブランドの確立を図り、早期に販売金額40億円の達成を目指します。



5月31日に「秋田のしいたけ販売三冠王V2達成記念式典」が開催され、代表して販売金額1億円以上の4JA（JA秋田ふるさと、JA秋田やまもと、JA秋田おばこ、JAこまち）の生産部会代表者にあきた園芸戦略対策協議会の小原正彦会長から感謝状が贈られました。



JA全農あきたでは、AI（人工知能）を搭載した画像処理式選別機を導入。しいたけの形や大きさを自動で選別し、選果作業の負担を軽減するなど生産拡大に対応しま



秋田県産しいたけのブランド化を推進するため、しいたけ取り扱いJAでは※どんぐりマークと菌床製造地表示のセット表示に取り組んでいます。

※どんぐりマーク：日本で伐採されたほだ木および樹木を使用した菌床・ほだ木から発生したしいたけの証明

秋田県産しいたけは、「肉厚でジューシー」など品質の高さが市場から高い評価を受けています。

園芸畜産部 園芸課 ☎018-864-2491



カメムシ防除の徹底

8月の薬剤散布後に畦畔・農道の草刈りを

6月			7月			8月			9月		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬

6月上旬から稲の出穂期10～15日前まで

草刈り2～3回

出穂期

薬剤散布

薬剤散布

収穫期
2週間前

収穫期

草刈り

草刈り

アカスジカスミカメは
イネ科雑草の穂に飛んできて
産卵し、増殖します。
薬剤散布後に草刈りをして、
斑点米の発生源を絶ちましょう。



草刈り
未実施

茎葉散布後に
草刈り実施

8月下旬の畦畔

雑草発生田は適期にカメムシ2回防除

斑点米カメムシ類の主要種はアカスジカスミカメです。

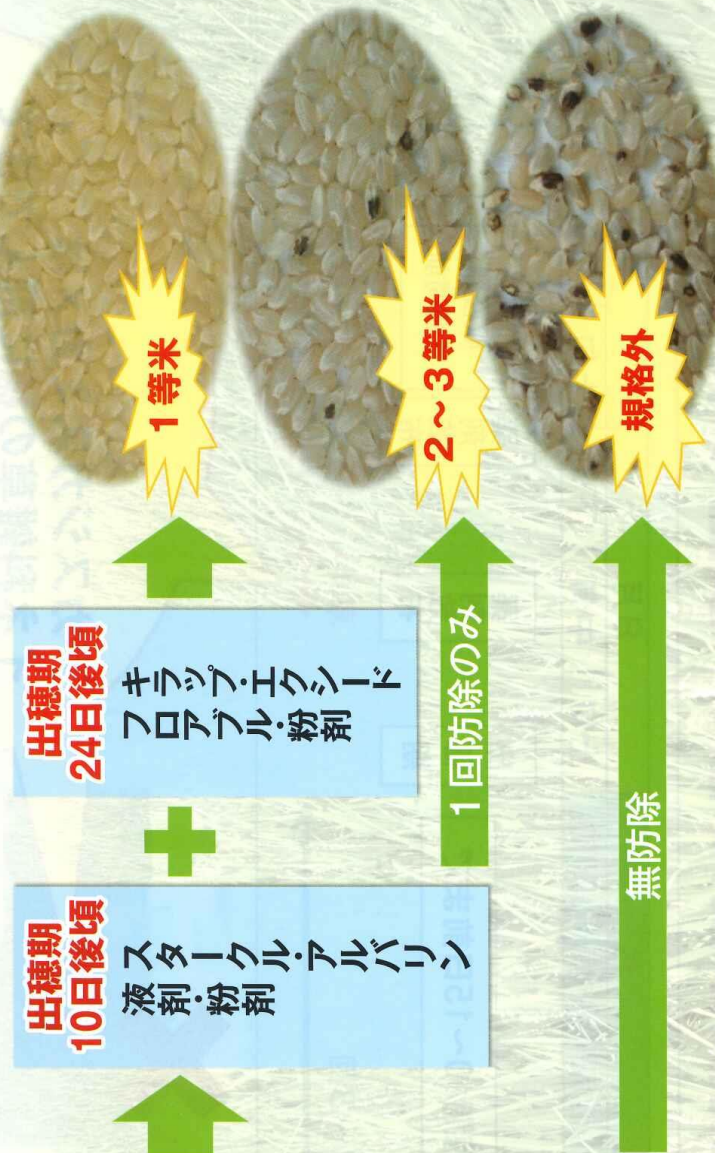
ノビエやホタルイ等の雑草発生田では

出穂期10日後頃と同24日後頃の2回防除が必要です。

雑草発生田は
アカスジカスミカメが多発



▲ノビエ ▲イヌホタルイ



イネ科植物が主体の牧草地や休耕田等が隣接している場合も同様です。

夏の元気はお米でチャージ！

秋田米「夏」キャンペーン



ＪＡグループ秋田、ＪＡ全農あきたは、令和２年産米の消費拡大にあたり「夏の元気はお米でチャージ！秋田米“夏”キャンペーン」を実施します。新型コロナウイルスの影響により、店頭でのＰＲ活動の自粛の中、キャンペーンを通じて秋田米の販売促進を図ります。また、売り上げの一部をもとにフードバンクあきたを通じて県内で子ども食堂を運営している団体等に秋田米等を提供する予定です。

【キャンペーン内容】

◆実施期間：令和３年６月中旬～８月３１日

※当日消印有効

◆応募方法：対象の秋田県産米に貼付している応募シール１枚１口（５ｋｇ未満は２枚で１口）を郵便はがきに貼付し、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・購入店舗・秋田県産米に対するご意見・ご感想をご記入のうえ応募ください。お一人様何口でもご応募できます。（ハガキ１枚につき１口）



◆応募シール

５ｋｇ以上：１口、５ｋｇ未満：２枚で１口

「秋田牛・桃豚」１ｋｇ：３００名様に当たる！



※画像はイメージです



秋田県産“のむ”とまと：３００名様

合計６００名様にプレゼント！

米穀部 米穀販売課 ☎018-845-8040



JAタウン公式アンバサダー石川佳純選手

今月のおすすめキャンペーン！

毎月、全農所属石川佳純選手がJAタウンの公式アンバサダーとしてJAタウンの商品の中から2点選びます！その商品を期間中に購入するとプレゼントが当たるキャンペーンを実施中です！石川選手も選んだ商品を実際に食べ、JAタウンやSNSで全国の旬の国産農畜産物の魅力を発信します！

①



鶴岡メロン三昧（3玉）

②



但馬牛焼肉用・赤身（500g）

今月の
商品！



キャンペーン期間

2021年5月25日～6月8日
（第2回以降、毎月実施）

【鶴岡メロン三昧（3玉）】を購入頂いた方の中から抽選で【但馬牛焼肉用・赤身（500g）】を5名にプレゼント
【但馬牛焼肉用・赤身（500g）】を購入頂いた方の中から抽選で【鶴岡メロン三昧（3玉）】を5名にプレゼント

JAタウンで検索！

JA全農あきたショップ おくもの逸品館



新規会員登録キャンペーン

期間中新規会員登録頂いた方の中から抽選で1,000名様に

1,000円分のJAタウンクーポン券をプレゼント！

新規会員登録期間 2021年5月25日(火)～2021年6月25日(金)

※クーポン券の付与およびご利用可能期間はキャンペーン終了後になります。

期間中に新規でJAタウンに入会した方を対象に、「JAタウン」で使えるクーポン1,000円分を抽選で1,000名様にプレゼント！

応募期間：2021年5月25日～6月25日

応募方法：対象期間に「JAタウン」の会員登録する

Za・あぐりふおーむ
Zennoh-akita agriculture+reform

JA全農あきた営農情報誌Za・あぐりふおーむ
第16号 令和3年6月7日発行

編集・発行 JA全農あきた営農支援部営農支援課 〒010-8558秋田市八橋南2丁目10番16号 018-864-2462

Za・あぐりふおーむのメール配信申込み受付中です！

「Za・あぐりふおーむ」は月1回のペースで発行（原則として毎月5日、無料）しています。

メール配信をご希望の方は、全農あきた営農支援部営農支援課（E-mailアドレス：zz_ak_einousien@zennoh.or.jp）まで、住所（又は所属機関・団体名）・氏名・E-mailアドレスをお知らせください。

※頂いた個人情報は「Za・あぐりふおーむ」の配付以外には使用いたしません。